



公益財団法人へ移行した室蘭テクノセンター

公益財団法人 室蘭テクノセンター

テクノだより

No. **004**
2013

TECHNO-DAYORI



室蘭テクノセンターは、室蘭地域（室蘭市、登別市、伊達市）の
中小企業振興を図る支援機関として、企業の技術力、経営力を高め、
地域産業の発展を目指します。

発行にあたって

日頃から、賛助会員をはじめ、室蘭市・登別市・伊達市、室蘭工業大学の皆様には、当財団の運営に対しまして、格別なるご指導、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、当財団は北海道知事から公益認定を受け、4月1日をもちまして公益財団法人へ移行いたしました。

これを機に、地域産学官金の皆様との連携を一層強化し、室蘭地域（室蘭・登別・伊達）の中小企業の振興発展に寄与すべく、より実りのある支援事業に積極的に取り組んで参ります。

さて、今日国内経済は、東日本大震災からの復興需要や円安の影響により、関連大手企業や輸出企業においては景気回復に向けた動きが見られるものの、原子力発電所の運転停止の影響によるエネルギーコストの増大など、地域企業にあつては厳しい環境の下で事業展開されているものと受け止めております。

こうした状況下にあります、当財団といたしましては、地域企業の要望に応えるべく、「ものづくり創出」、「市場開拓」、「経営支援」、そして「産学官連携」を基本に、鋭意支援事業を展開しております。

登別市、伊達市を含めた室蘭地域の中小企業の振興・発展のため、関係機関との連携に努め、当財団の役割を十分に発揮していく所存でございますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、当財団が平成24年度に取り組んだ各種の事業をまとめた「テクノだより」が出来上がりましたので、お届けさせていただきます。

平成25年6月吉日

公益財団法人室蘭テクノセンター

理事長 栗 林 和 徳

● 室蘭テクノセンターの各種事業支援 ●

ものづくり創出支援事業

室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）に蓄積された技術・人材などの産業資源を活用し、起業化から研究開発、新分野への展開、技術研修まで幅広く対応し一体化した支援を行うことで、新製品・新技術の開発、新事業の創出を促進します。

《補助事業メニュー》

1. 開発の芽育成支援事業

事業化等の可能性のある製品・技術の新規開発又は大幅な改善に対する調査研究事業または基礎技術確立事業など。

▶ 24年度は6件の調査研究を支援しました。

2. 製品・技術事業化支援事業

市場投入の実現性が高い新製品・新技術の開発又は既存製品・技術の大幅な改善を行う研究開発事業など。

▶ 24年度は4件の研究開発を支援しました。

3. 商品化推進支援事業

「マーケティング調査、消費者ニーズ調査などの需要調査」や「新製品のデザイン開発や既製デザインの改善実用化事業」、食品に関する開発で「新商品・新製品の開発」「既存商品・製品の大幅な改善」「マーケティング調査・デザイン開発を行う調査研究事業」など。

▶ 平成24年度は3件のデザイン開発及び食品の開発を支援しました。

4. 市場開拓支援事業

製品・技術の展示会等への出展や開催、ホームページ及びパンフレットなどの企画・作成や公的商談会等への参加など。

▶ 平成24年度は5件のホームページやパンフレット作成及び展示会の出展を支援しました。

5. ものづくり創業支援事業

ものづくりに関する事業展開のための事務所経費を助成。

▶ 平成24年度は2件の創業を支援しました。

6. ものづくり技術・技能習得研修支援事業

技術・技能・デザイン開発等の習得のための先進企業や試験研究機関への技術者派遣、又は専門技術者招聘等による人材教育や研修事業など。

7. ものづくり資格取得支援事業

製造業にかかる技能士の取得経費を支援。

8. 検査測定支援事業

新商品・新製品又は商品・製品の大幅な改善に係る性能検査に係る経費を助成。

▶ 平成24年度は1件の検査測定を支援しました。

《補助対象者》 中小企業者及び任意の団体等

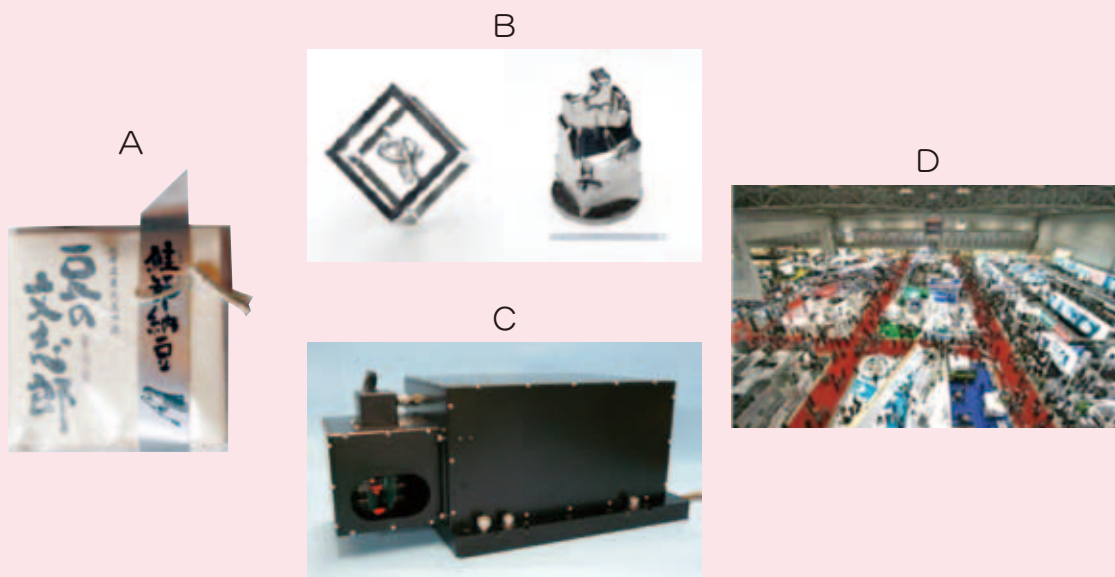
《補助限度額》 室蘭テクノセンターのホームページ等をご覧ください。

これまでの「ものづくり創出支援事業」制度利用実績一覧

(件数)

事業名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
開発の芽育成支援事業	13	13	11	5	5	8	6
製品・技術事業化支援事業	0	0	0	2	4	2	4
商品化推進支援事業	2	1	1	1	5	3	3
市場開拓支援事業	4	3	4	6	3	2	5
ものづくり創業支援事業	0	2	3	2	0	0	2
ものづくり技術・技能習得研修支援事業	—	4	2	0	0	0	0
ものづくり資格取得支援事業	—	1	2	0	1	0	0
検査測定支援事業	—	—	—	—	—	—	1
ISO 認証取得支援事業	1	—	—	—	—	—	—
計	20	24	23	16	18	15	21

平成24年度「ものづくり創出支援事業」による成果の一部を紹介



【商品化推進支援事業を活用】

【製品・技術事業化支援事業を活用】

【市場開拓支援事業を活用】

「鮭節納豆」(写真A)の開発。

「硬脆材料の高精度切削加工技術」(写真B)の開発。

「新型高性能光波距離計」(写真C)の開発。

「日本国際工作機械見本市」(写真D)に出展し製品のPRを行った。

産学官連携支援事業

1. フロンティア技術検討会の開催

テクノセンターの主要4事業の1つであります「産学官連携支援事業」で、室蘭工業大学との共催により、「エネルギー戦略と省エネの対策及び実践について」をテーマに講演会を開催しました。

講演



多田 好克氏



鈴木 伸隆氏



安澤 典男氏



鈴木 高士氏

○開催日 平成24年10月23日(火)

○開催場所 中嶋神社「蓬峯殿」

○講演内容 演題1:「エネルギーを巡る現状と再生可能エネルギーの利用拡大に向けて」

講師: 北海道経済産業局資源エネルギー環境部
エネルギー対策課 課長 多田 好克 氏

演題2:「継続的な節電/省エネを“かしこく”進めるための着眼点」

講師: 一般財団法人省エネルギーセンター省エネ人材育成本部
育成事業部 課長 鈴木 伸隆 氏

演題3:「企業における技術革新と省エネルギー活動
～省エネ技術開発事例と省エネ診断活用事例～」

講師: 財団法人室蘭テクノセンター
総括アドバイザー 安澤 典男 氏
: 興和工業株式会社
代表取締役社長 鈴木 高士 氏

○参加者 116名

○主催 室蘭地域産学官連携事業実行委員会(構成: 財団法人室蘭テクノセンター、室蘭工業大学 CRD センター・同研究協力会、産学交流プラザ「創造」)

2. 企業技術・製品展示会の開催

地域で培われた地元企業の技術と製品を広く市民に公開し、室蘭地域の「ものづくり力」を実感してもらう、室蘭市の「開港140年・市制施行90年」記念事業を実施するにあたり、室蘭市や室蘭商工会議所との協賛事業で「室蘭ものづくり軌跡フェア」を開催しました。

○開催日 平成24年10月26日(金)～27日(土)

○開催場所 室蘭市市民会館

○開催内容 企業展示会

○主催 財団法人室蘭テクノセンター・室蘭市・室蘭商工会議所



3. 産学官連携支援室

産学官連携支援コーディネーターにより室蘭工業大学と企業との産学連携の促進と外部資金獲得のための大学シーズピックアップとコーディネートを行いました。

- ①開発の芽育成支援事業に係る大学との共同研究 2件
- ②大学と地域企業との仲介に関する研究室訪問・相談 69件

4. ビジネスEXPO（北海道 技術・ビジネス交流会）

毎年、秋に開催されるビジネスEXPO「第26回北海道 技術・ビジネス交流会」に参加し、地域企業の技術や製品等のPRを行いました。

- 開催日 平成24年11月8日（木）、9日（金）
- 開催場所 アクセスサッポロ（札幌市白石区）
- 出展企業 6社

佐藤設備工業(株)



給・排水管更生技術
PCG工法（パイプクリーンガード）のデモ機による実演。材料見本、カタログ・パネルの展示。

ニッテツ北海道制御システム(株)



サウンドプラグ、インターフェース装置の実演。

佐々木機工(株)



「防錆・防食・耐磨耗」をテーマとしたケミカル商品、加工品等の展示。

ファクター(株)



各種ワイヤーハーネスの展示。

ノールドデザイン



串料理専用皿「串皿」、気化熱保冷ワインクーラー「冷管」の展示。

5. 新ビジネス創出推進事業

産業創出の推進を図るため、地域のニーズや素材を元にしたビジネス化のアイデアを掘り起こすとともに、企業等が発案した取り組みについて、開発、事業化及び販路開拓等を幅広く支援しながら産学官連携による新たな地域産業を創出しました。

- ①地域産業プロデューサーの配置
（ビジネスコーディネーターが兼務） 3名
- ②産業創出の芽の発掘・プロジェクト化への
企画検討プロデュース（試作、開発企画、市場調査含む）
プロデュース実施テーマ 2件



蓄養水槽・泡沫分離装置

6. 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」 会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教員との交流を行い、人的ネットワークの形成と新たな共同研究テーマ発掘のため、同プラザの運営支援を行いました。

産学交流プラザ「創造」について

本会は、地域の産業界、大学、行政機関等が連携する幅広い交流活動により、最新の情報を得て、経営資源として活用するとともに、ものづくり力を高め、また会員同士一致協力のもと環境に配慮しつつ研究開発及び、その成果の事業化を目指すことによって室蘭の産業振興に資することを目的としています。

【事業内容】

1. 会員相互の意見交換・情報交換、交流
2. 大学からのシーズ提供、教員との交流
3. セミナーの開催
4. テーマ別調査、研究開発プロジェクト、事業化プロジェクトの推進
5. その他目的に合致する事業

■平成24年度の「創造」の活動状況

(通年)	NHKモニュメント「風来」延命化への取り組み	
4/17	企業見学会・情報交換会 31名参加	ニッテツ北海道制御システム(株)を見学
5/29	企業見学会・情報交換会 32名参加	北海道曹達(株)幌別事業所を見学
6/26	企業見学会・情報交換会 30名参加	(株)檜崎製作所を見学
7/24	企業見学会・情報交換会 28名参加	(株)永澤機械を見学
8/7	北洋銀行ものづくりテクノフェア及び北大ビジネス・スプリング見学会18名参加	
8/23	企業見学会・情報交換会 30名参加	(株)アール・アンド・イーを見学
9/18	企業見学会・情報交換会 23名参加	東海建設(株)を見学
9/27	他地域企業視察会(苫小牧) 王子製紙・苫東コールセンター 23名参加	
10/24	企業見学会・情報交換会 25名参加	日鋼検査サービス(株)を見学
2/26	企業見学会・情報交換会 25名参加	(株)三好製作所室蘭工場を見学
3/26	企業見学会・情報交換会 21名参加	(株)キメラ本社工場を見学



他地域企業視察会(苫小牧・苫東コールセンター)

自動車関連産業等技術交流促進事業

北海道の委託事業で、ものづくりの先進県である静岡県と室蘭地域をはじめとする道央地域を中心に、地域特性や地域資源を活用した、自動車関連製品等の生産技術の高度化や品質向上に関する研究開発をメインとした産業技術・人材交流事業を実施し、道内企業の製造技術の向上を図るとともに、販路拡大を支援しました。

1. 産業支援機関等交流促進事業

①産業技術交流

道内企業の技術レベル向上と販路拡大のため、自動車関連企業等を中心に静岡県と道内企業との各企業が抱える課題を抽出し、その課題解決に向けた、共同研究開発テーマを3件創出し、これからの産業技術交流の方向性を提示しました。

・訪問企業数37社（うち道内企業22社 静岡県企業15社）

②はままつメッセへの出展

静岡県浜松市で開催された、展示商談会「はままつメッセ」に室蘭地域の5社が出展し、製品・技術・サービスのPRを支援しました。

開催日 平成25年1月24日（木）～25日（金）

開催場所 アクトシティ浜松（静岡県浜松市）

2. 先進技術導入促進事業

①若手技術者インターンシップ事業

先進的企業の技術やノウハウ、さらには経営哲学などの習得を目的に、鍛造の一種である冷間圧造成形による塑性加工を得意とする西尾精密㈱（浜松市）に室蘭市内の技術者2名（2企業から各1名）を平成24年11月26日（月）から6日間の日程で派遣しました。西尾眞之相談役から冷間圧造技術のみならず成功体験に基づく経営やものづくりに関する思想についても学ぶ機会となり、その成果について派遣企業の方から高い評価が得られました。

②先進企業技術者等招聘事業

「研究開発から事業化を成功させる」をテーマに平成24年12月12日（水）、室蘭テクノセンターでセミナーを開催し、講師として精密アルミ砂型鋳造、三次元測定機検証用ツール製造などを得意とする㈱浅沼技研（浜松市）の浅沼進代表取締役社長をお招きし、「中小企業の生き残りに向けた挑戦～下請けとしての独自技術の確立」と題して講演していただきました。講演骨子は、中小企業が生き残っていくためには独自技術を開発し、PRしていくことが重要であるというものであり、西胆振地域から参加した21名の企業経営者等の満足度は非常に高いものとなりました。

経営支援事業

1. 技術・経営、特許相談

財団のビジネスコーディネーター、特許相談員、などの専門家による技術・経営等の相談指導、各種支援制度の紹介及び申請指導を行うほか、大学・研究機関への仲介を行いました。

2. 地域企業訪問ヒアリング

①企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行ったほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行いました。

○訪問企業数 33社（製造業27社、卸売業3社、サービス業3）

②主な要望

- 研究開発補助金・助成金のコーディネート及び指導
- 共同研究、技術指導に関する産・学・官への仲介
- 市場開拓に対する支援、情報提供 ●各種講演会・講習会の開催、情報提供
- 人材の育成・教育、情報提供

3. 省エネ診断

企業における省エネ対策は、コスト削減及び環境負荷低減に寄与することになり企業イメージの向上に繋がります。平成24年度は平成20年度から始めた無料省エネ診断事業の効果を検証するため、平成23年度の2件を含めて過去4年間に受診した企業15社について、省エネ診断で提案した省エネ対策の実施状況を調査しました。その結果、投資を必要としない省エネ対策はもちろん実施しました。また、投資を必要とする案件についても「費用対効果」を検討し実施しました、との回答が多くありました。特に、エネルギー消費原単位をグラフ化して傾向管理すると共に、省エネ対策の具体的な内容及びその効果を定量化している事例などを聞くことができました。本事業が中小企業の経営に役立っていることが実感できましたので今後も継続します。

省エネルギー対策の方法・技術がわからないと思っている中小企業の方は、まず室蘭テクノセンターにご相談ください。

4. 中小企業緊急経営相談窓口

室蘭テクノセンターでは、中小企業金融円滑化法の終了を踏まえ、地域の中小企業の経営力の強化を図るため、平成25年3月1日から、「中小企業緊急経営相談窓口」を開設しました。

経営相談を行う経営サポーターや、専門家である経営改善コーディネーターが、地域の金融機関などの関係機関と連携し、経営のアドバイスや経営改善計画の策定支援など、経営改善・事業再生に向けた支援を行います。

5. 新事業展開等支援体制構築事業

北海道の受託事業として、新事業展開や新分野進出を目指す中小企業を積極的支援しました。

- ・ インキュベーションマネージャーの配置
- ・ 各種セミナーの開催

室蘭地域経営支援セミナー

～アイデア発想力による新規事業展開～

中小企業の現経営者や次代の経営者などを対象に開催しました。



○内 容 アイデア発想力をどのように活かして既存の製品や技術を新規事業展開に結びつけていくか、どのような着眼点が重要か、またそれをどのように育て発展させていけば良いのかなど、取組事例を紹介しました。

○開催日 平成 24 年 12 月 19 日

○参加者 55 名

○会 場 中嶋神社 蓬峽殿

○講 師 法政大学大学院政策創造研究科教授 坂本 光司 氏

○共 催 室蘭信用金庫

6. 室蘭職業訓練協会受託事業

職業訓練法人 室蘭職業訓練協会の受託事業として、協会加盟の建築・塗装・板金・左官・電気事業組合のうち板金組合に所属する企業の技能向上訓練を行い、技術・技能修得について支援しました。

●訓練期間 平成 25 年 1 月 21 日～2月 22 日

平成25年度事業概要

1. 技術・製品開発等支援事業として、ものづくり創出支援事業による製品・技術研究開発の支援を行うなど、地域の技術・製品開発の推進を図ります。
2. 産学官連携支援事業として、室蘭工業大学地域共同研究開発センター内「産学官連携支援室」の活用促進を図るとともに、産学交流プラザ「創造」の運営支援等による地域と大学との交流促進、さらに、新ビジネス創出推進事業による、産業界・大学・研究機関との連携強化、地域の産業創出に向けたプロデュースの推進を図ります。
3. 中小企業支援事業として、中小企業の経営改善・事業再生などの経営力の強化を図るための支援を行います。また、技術・経営・特許やコスト削減などの幅広い範囲で、相談・指導・企業訪問によるニーズの把握を実施するほか、企業を支える人材育成のための支援を行います。

● 室蘭テクノセンタースタッフの支援・実績

室蘭テクノセンターには、技術や経営に関する相談に必要なビジネスコーディネーターなどの専門のスタッフがいます。私たちスタッフが室蘭地域の中小企業が抱える様々な課題解決のお手伝いをします。

あんざわ

● 安澤総括アドバイザー

設備技術開発、新規事業開発などに資する助言・指導を行っています。今年度は道の委託事業「自動車関連産業等交流促進事業」の企画提案書の作成、事業推進により目標達成に貢献しました。新ビジネス創出事業の「蓄養水槽における泡沫分離装置の開発」ではシーズ技術を提案し次年度の事業化開発に繋がるまで推進させました。ものづくり創出支援事業の「木質ペレットストーブの開発」では実験研究を支援し商品コンセプトを明確にして次年度の「商品開発」の方向性を提示しました。また「可搬型タンク内換気ガス清浄装置の開発」では、集塵装置の基本設計などを指導し実用化に目処をつけました。省エネ診断事業は、今年度実施した2件を含めてこれまでに受診した企業の省エネ対策の実施状況を調査しフロンティア技術検討会で講演しました。市場開拓事業では圏外の企業支援などを通じて地元企業の受注拡大に貢献しました。

おがさわら

● 小笠原インキュベーションマネージャー

新事業展開や新分野進出を目指す中小企業の事業戦略やプランニングづくり等の相談受付やアドバイス等の個別支援を行っています。

[※インキュベーション：新しい事業を創る]

むらかみ

● 村上ビジネスコーディネーター

当テクノセンターの主目的である、地域中小企業活性化の為、地域企業間、室蘭工業大学CRDセンター、北海道総合研究機構、道内4高専（旭川、函館、苫小牧、釧路）各市役所、金融機関と連携し企業ニーズの把握、技術に関する困り事、補助金の相談事などに支援し、またNHK室蘭放送局前にある鉄の芸術家クマさんこと篠原勝之氏デザインのモニュメント「風来」の修復作業にビジネスコーディネーターが関わっています。何事においても気軽にご相談下さい。

ふくとみ

● 福富ビジネスコーディネーター

平成25年4月にビジネスコーディネーターに就任致しました。製造業の設備企画、操業改善、品質管理、知的財産管理、人材育成等の業務に長く携わってきたので、これらの経験が室蘭地域の中小企業の皆様が取り組む各種課題の解決のお役に立つように支援いたします。

こん

● 今経営サポーター

中小企業の経営安定や革新への取り組みを強化するため、中小企業の直接相談や金融機関と連携した各種施策の活用について、専門家である経営改善コーディネーターが支援しています。経営相談窓口を開設し経営上の相談に幅広く応じておりますので、お気軽にご相談下さい。

賛助会員を募集しています！

当財団では、多くの方々のご賛同、ご支援をいただきながら、室蘭地域における中小企業振興を目的とした各種事業を展開していくため、企業・機関・団体の皆様に賛助会員の募集を行っております。

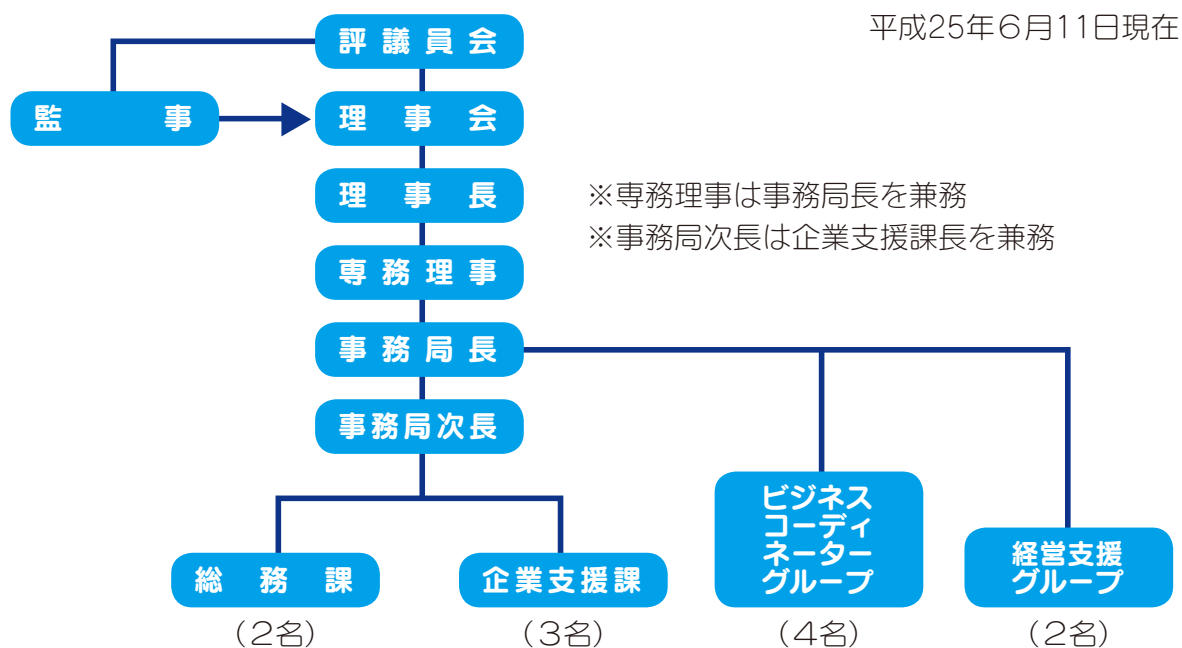
賛助会員に加入いただきますと、支援情報をタイムリーにお届けするなど、支援サービスをよりご活用いただけます。

入会ご希望の方は、賛助会員加入申込書を送付いたしますので、お問い合わせください。

当財団の趣旨に賛同し、是非賛助会員として加入いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

会費：年会費 〈1口〉2万円

当財団の組織体制をお知らせします



商標・特許等についてのご相談がありましたら、
「北海道知的財産情報センター・室蘭サテライト」
までお問い合わせください。

《申込方法》 電話で申し込みください。

《受付時間》 平日9時～12時、13時～17時
(※土・日・祝日・年末年始はお休みです。)

《問合せ先》 (公財)室蘭テクノセンター TEL：0143-45-1188